

下谷

曹洞宗

大慈山円通院

長生寺末

末寺は林照

院、東光寺

の二カ寺。

本尊由緒

本尊は釈迦

牟尼仏、坐

像。像長42

cm、肩巾20

cm、膝張り

31cm、面長

12cm、面巾

8cm、

合祀仏

観世音菩薩、

地藏菩薩、

薬師如来、



円通院 本堂

十王尊、達磨大師、大権修利菩薩、毘沙門天。

興起緣由

甲斐国志に「開基梅岩全芳居士享禄三年卒、初円通庵と称し観音を本尊として竹が鼻に創造。中興喚室一応和尚修造元和

九年八月七日寂。寛永十年秋元氏領知の初領主の計として諸堂を今の地に移し円通院と改む」と記録されている。

開山履歴

広巖大通禪師諱語集卷之八、広巖列祖法灯伝賛、融山宗祝禪師伝に曰「長生第三祖甲之円通為「始祖」。禪師諱宗祝、字融山。嗣「法積桂」、武蔵州荏原郡人云云」

また当院歴代住職録にも、開山は長生三世一道光円禪師融山宗祝と記されている。

結構規模

本堂、庫裡、薬師堂、総門、山門、朱雀門、鐘楼、廻廊、六角堂、倉庫、保育園舎等諸堂が整備されている。

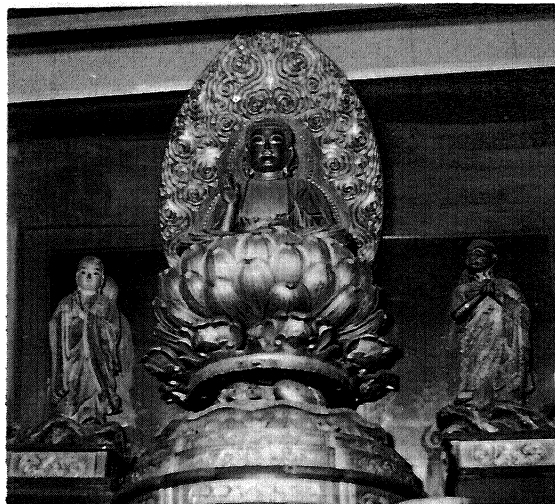
歴代住職

開山一道光円禪師融山宗祝―二世祖月教―三世月海舟―四世正宗印―五世覚海教―六世閑外城―七世閑室秀―八世徳巖要―九世大澄乗―十世祖海宗―十一世徳芳隣―十二世滑岸熊―十三世花山瑞―十四世大道祖宗―十五世大安祖道―十六世仏心教道（現住）

古器 什器 宝物

本堂杉ふすまの絵画

五石橋



円通院 本尊

民話

「竹藪守りの円通院」という民話
が古くから
言い伝えら
れている。